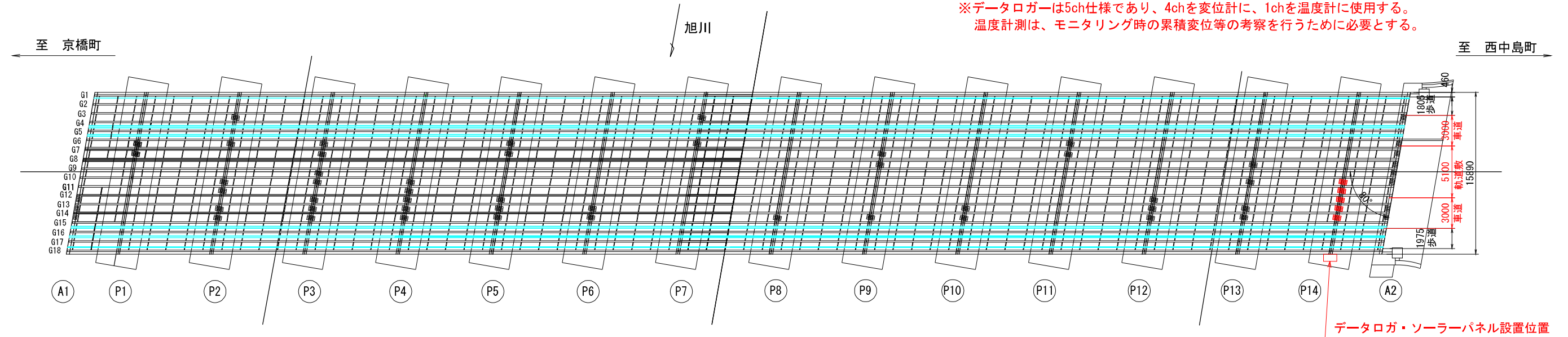


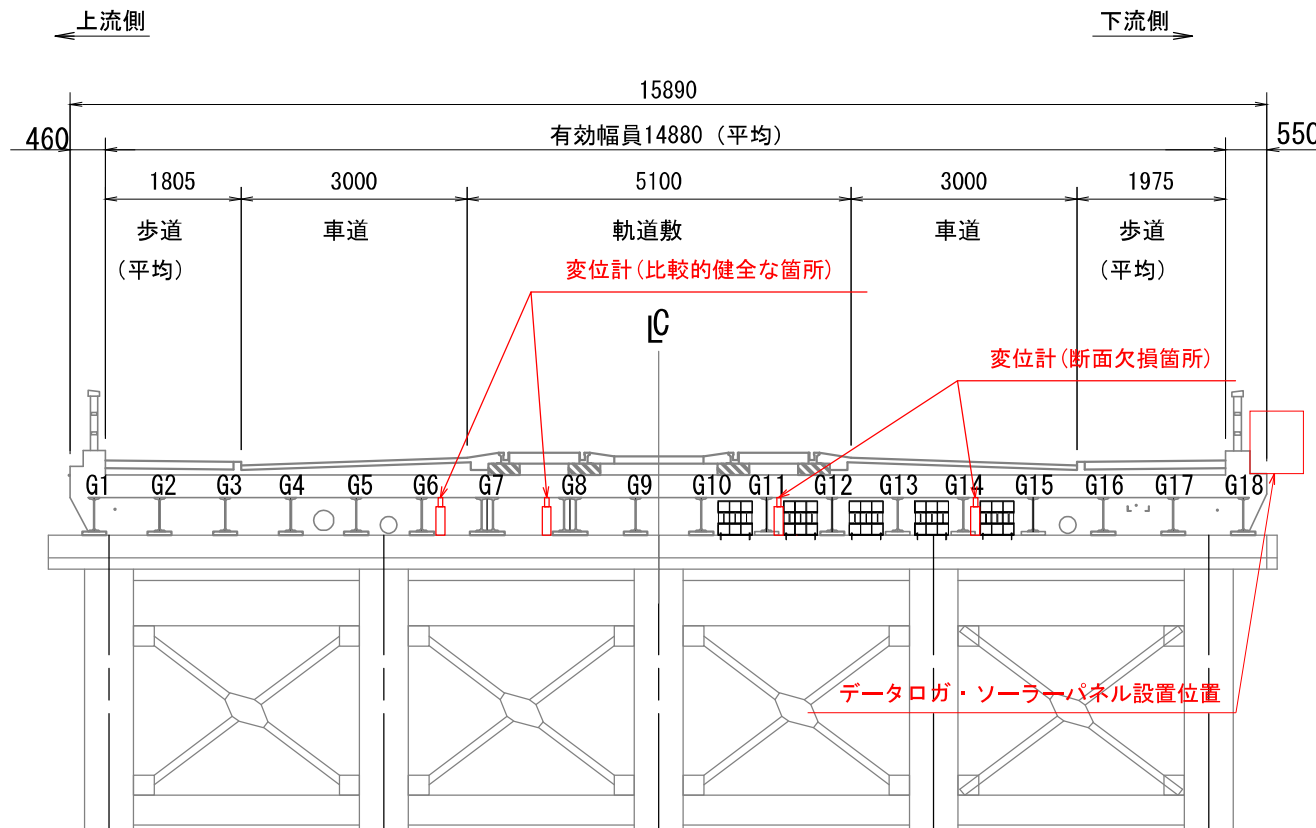
計測装置位置図 P14

平面図 S=1:400

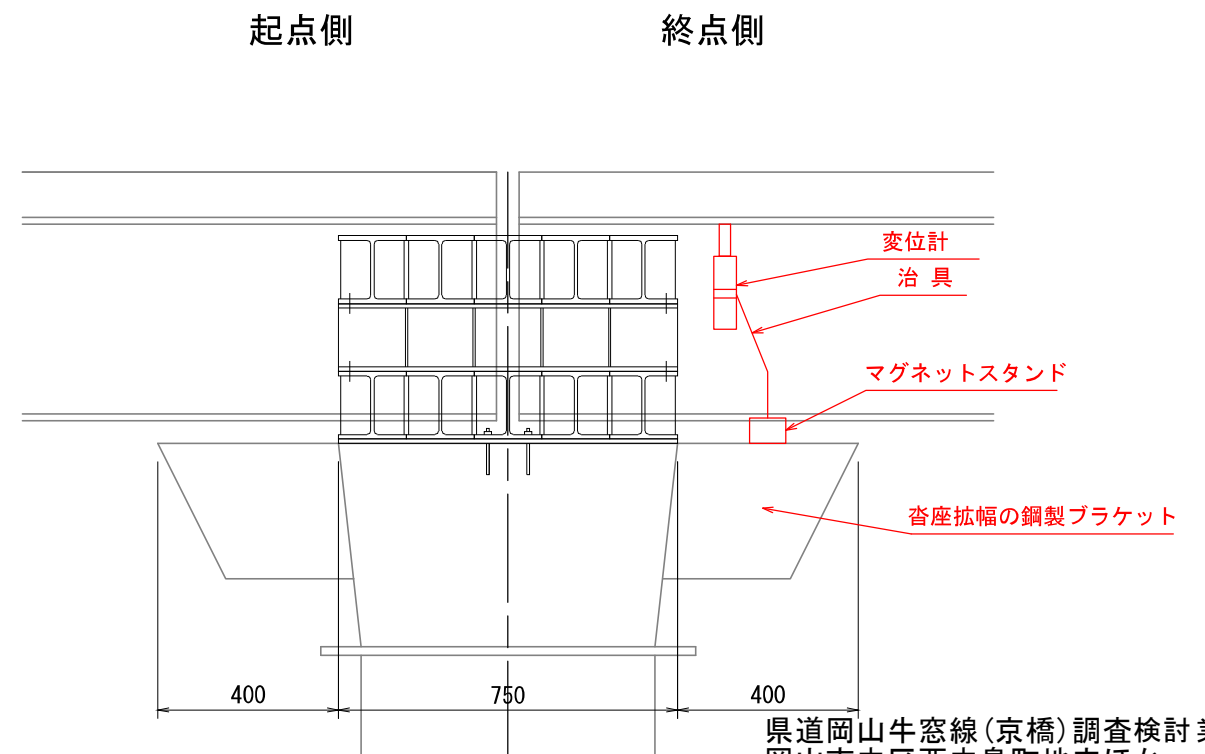


【モニタリング位置の設定】
P14橋脚（終点側）のG11桁は、主桁に著しい断面欠損が見られるとともに、荷重条件上、最も厳しい路面電車の通過箇所である。合わせて、高水敷部に位置することから、維持管理性にも優れている。以上を踏まえ、モニタリング位置は、「P14橋脚（終点側）」とする。
モニタリングに用いる変位計の設置位置は、主桁に著しい断面欠損が見られる軌道部（G11桁）及び車道部（G14桁）に加えて、主桁が比較的健全な軌道部（G8桁）及び車道部（G6桁）とする。健全部の計測は、モニタリング時に突出した値が計測された場合、その考察を行うために必要とする。
変位計は、治具を介したマグネットスタンドにより、沓座拡幅の鋼製ブラケット天端に取り付けるものとする。なお、データロガーおよびソーラーパネル等は、P14橋脚下流側の防護柵に設置する。
※データロガーは5ch仕様であり、4chを変位計に、1chを温度計に使用する。
温度計測は、モニタリング時の累積変位等の考察を行うために必要とする。

P14橋脚断面図 S=1:150



P14橋脚側面図 S=1:15



県道岡山牛窓線(京橋)調査検討業務委託
岡山市中区西中島町地内ほか